

令和元年度 学校支援地域本部事業計画

「子どもと地域をつなぐ絆をつくる～支援から協働へ～」

—未来を担う子どもたちの成長を支える体制づくり—

清須市学校支援地域本部

1 はじめに

社会がますます複雑多様化し、子供を取り巻く環境も大きく変化する中で、学校が様々な課題を抱えているとともに、家庭や地域の教育力が低下し、学校に過剰な役割が求められている状況のなかで、これからの教育は、学校だけが役割と責任を負うのではなく、これまで以上に学校、家庭、地域の連携協力のもとで進めていくことが不可欠となっている。

このため平成18年に改正された教育基本法では、「学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力」の規定が新設された。

学校支援地域本部は、これを具体化する方策の柱であり、学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子供を育てる体制を整えることを目的とし、学校教育の充実、生涯学習社会の実現、地域の教育力の向上をそのねらいとする。

本市においても、平成20年度より西枇杷島中学校区をモデル地区として、学校支援地域本部事業を、スタートさせ、地道に活動を広げ、現在では、市内全ての小中学校で、活動している。その活動内容が、他の規範と認められるとの評価を受け、平成29年12月に、「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣賞の表彰を受け、これまでの実績に高い評価をいただいた。

昨年度は、西枇杷島中学校が、安心・安全な学校づくりを推進している功績を評価され、平成30年7月に「内閣総理大臣賞」を受賞した。これは、西枇杷島中学校が、学校支援地域本部事業とともに、防災教育に力を入れ、家庭や関係機関との連携を継続的に行うことで、地域に貢献する人づくりを目指しており、安全教育の推進に寄与していることへの評価である。

平成27年12月、中央教育審議会(文部科学省)において、「新しい時代の教育や地域創生の実現に向けた学校と地域の連携、協働の在り方と今後の推進方策について(答申)」がとりまとめられた。この答申では、今後の地域における学校との共同体制の在り方について、地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域を創生する「地域学校協働活動」を推進すること、そのために従来の学校支援地域本部等の地域と学校の連携体制を基盤に、新たな体制として「地域学校協働本部」を全国に整備すること等が提言されている。

また、平成28年12月に、「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」(中央教育審議会)が、取りまとめられ、この答申を踏まえ、平成29年3月に、次期学習指導要領等が策定された。その中では、“よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る”という目標を学校と社会が共有し、連携・協働しながら、新しい時代に求められている資質・能力を子どもたちに育む「社会に開かれた教育課程」の実現を目指すことと示されている。

さらに、平成31年1月に取りまとめられた、「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について(答申)」(中央教育審議会(文部科学省))においても、「学校における働き方改革を進めるに当たっては、地域と学校の連携・協働や家庭との連携強化により、学校内外を通じた子供の生活の充実や活性化を図ることが大切。」とされた。

学校及び教師が担う業務の明確化・適正化においては、これまで教師が担ってきた業務において、「基本的に学校以外が担うべき業務」として、

- ①登下校に対する対応
- ②放課後から夜間などに対する見回り、児童生徒が補導された時の対応
- ③学校徴収金・管理
- ④地域ボランティアとの連絡調整

「学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務」として、

- ⑤調査・統計等への回答等(事務職員等)

- ⑥児童生徒の休み時間における対応（輪番・地域ボランティア等）
- ⑦校内清掃（輪番・地域ボランティア等）
- ⑧部活動（部活動指導員等）

業務の在り方に関する考え方が、整理され、その業務内容に応じて、地方公共団体や教育委員会、保護者、地域学校協働活動推進員や地域ボランティア等が、担うべきと明記された。

本市における地域学校協働活動においても、各学校との連携を強化し、未来の地域づくりの基盤となるよう、子どもたちの成長を支える一役を担っていけるような体制づくりに努めたい。

2 地域学校協働活動及び地域学校協働本部の概要

「地域学校協働活動」とは、地域の高齢者、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動である。

「地域学校協働本部」とは、従来の学校支援地域本部等の地域と学校の連携体制を基盤として、より多くのより幅広い層の地域住民、団体等が参画し、ゆるやかなネットワークを形成することにより、地域学校協働活動を推進する体制である。

その整備にあたっては、地域による学校への「支援」から、地域と学校双方向の「連携・協働」を推進し、「個別」の活動から「総合化・ネットワーク化」へと発展させていくことを前提とした上で、①コーディネート機能、②多様な活動、③継続的な活動の3要素を必須とすることが重要であるとされた。

今年度の本市の学校支援地域本部の活動においても、この3要素を常に念頭におきながら、活動していきたい。

3 コーディネート機能の強化

地域学校協働活動の推進においては、地域住民等や学校関係者との連絡調整、地域学校協働活動の企画・調整等を担うコーディネーターの役割が非常に重要である。

本市において、昨年度までは、統括コーディネーターのもと、地域コーディネーター16名が、中学校区ごとに協力しあいながら活動してきたが、活動が多岐にわたり、地域コーディネーター1名では、負担が大きくなったため、今年度より、地域コーディネーターの補佐役として、サブコーディネーターを配置し、各学校のニーズに応えられるよう対応していきたい。

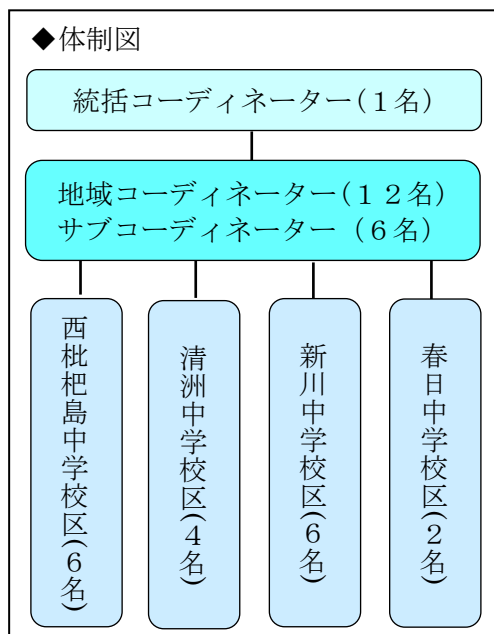
(1) 春日中学校区での取り組み

春日中学校区では、1小学校1中学校となっており、地域としても、小中学校をまとめて、支えていきたいという思いもあることから、地域コーディネーターを学校毎に置くことをやめ、2人の地域コーディネーターが、2校両方のコーディネートをすることにより、充実を図ることとする。

また、個人的に、自発的に、学校の見守りをしてくださっている地域ボランティアの方々と、地域コーディネーターが、直接交流することにより、ボランティア保険の加入等、地域ボランティアに対するきめの細かいフォローを実現することを目指す。

(2) 星の宮小学校での取り組み

昨年度まで、地域コーディネーターとして活動して下さっていた方が、今年度は、PTA会長の任に着くこととなった。地域コーディネーターとPTA会長の兼任は、可能であるが、本人への負担が大きくなるため、今年度は、PTA会長を主として、サブコーディネーターとして、関わっていただくことで、PTA活動と、地域学校協働活動の積極的連携を試みたい。



(3) 清洲中学校区での取り組み

清洲中学校区においては、各学校1名の地域コーディネーターを配置しているが、活動をより充実させるため、2小学校1中学校の3校共通の地域コーディネーターを配置する。清洲中学校区における地域連携も、より推進されると期待している。

4 多様で、継続的な活動の推進

(1) にしび夢のかけはしプロジェクトによる「親子わくわくプラザ」の開催

子育て支援課の補助事業として開催する「こども食堂」を、単なる食事を提供する場だけにすることなく、すべての子どもたちが、それぞれの輝く未来に向けて、夢と希望を持って成長できるよう、「学び」「食」「あそび」の3つを1つの事業として展開していくことで、地域にある様々な機関・団体等や、世代を超えた地域ボランティアと連携を図ることができ、子どもを中心とした地域の絆づくりへと発展させることができると考える。地域コミュニティの場所をつくることによって、子どもの居場所づくり・子育て中の母親支援・大人のたまり場を、目指す。

①幼児期からの、発達段階に応じた「学び」の場の提供

学習支援については、学校支援ボランティアの中から特に、リーダーとして教員OBに依頼。幼児については、子育てネットワークわくわくに依頼。

②「食」の提供とともに、親子と地域をつなぐ居場所の提供

食事の提供については、地域ボランティアグループ「にしび友愛給食会」が主となり、千春会や、ボーイスカウト等、地域の多様なボランティア団体に協力を依頼。

③絵本の読み聞かせや、コンサート、プログラミング教室等、多様な文化や、運動等の機会の提供を、年間10回企画、運営していく。

イベント等については、学校支援ボランティアの中から、地域ボランティアや、スポーツ推進員等へ協力依頼。

(2) にしび夢のかけ橋実行委員会による「クロガネモチの木応援プロジェクト」

西枇杷島小学校のシンボルツリーであり、本市の天然記念物であるクロガネモチが、衰えはじめたことから、樹木の回復をめざし、持続的に活動し、木を守っていくことになった。学校支援地域本部としては、地域と学校が、クロガネモチを通して、結びつくことに意義があると考え、継続的に協力していく。

(3) 放課後子ども総合プラン推進のための活動プログラムの企画・提供

放課後児童クラブ及び放課後子供教室の、全ての児童を対象とした活動プログラムを、学校支援地域本部が企画し、両事業の児童が交流できることを目的とする。

・清洲小学校体育館にて、清洲児童館放課後児童クラブと清洲小放課後子供教室のコラボイベントを7月11日（木）に、企画・提供予定。

(4) 放課後子供教室との連携

本年度より、市内全8小学校において、放課後子供教室が、始まった。放課後子供教室の支援員と地域コーディネーターを兼ねているメンバーも多く、学校支援地域本部が地域ボランティアを活用したプログラム（読み聞かせやプログラミング活動等）も、充実してきたことから、積極的に連携していきたい。

・新川小学校放課後子供教室…毎月1回 学校支援ボランティア「おはなしぱびふぺぽ」による読み聞かせ

・西枇杷島小学校放課後子供教室…年3回 学校支援ボランティア「おはなしぱびふぺぽ」による読み聞かせ

・清洲東小学校放課後子供教室…プログラミング講座を12月11日（木）に、企画提供予定。

(5) 大型紙芝居「忘れない東海豪雨」の実演

平成27年度に、愛知県委託事業「シニア地域デビューモデル事業」において作成した大型紙芝居を、継続して上演し、東海豪雨災害を学ぶことにより、東海豪雨を次の世代に伝えていくとともに、「自然災害」に対する危機意識を常に持ち、災害に対する防災意識を高めていくことを目的とする。

・西枇杷島小学校、古城小学校、親子わくわくプラザで、実施予定

(6) 学校に対する多様な協力活動

登下校の見守り、学校の花壇や通学路等の学校周辺環境の整備、子ども達への本の読み聞かせ、本の修繕、学校図書館の整備、特別授業や授業補助等の活動は、引き続き重要な意義を持っており、今後さらに、地域と学校の連携・協働を進めていくための基礎的な活動となる。具体的な活動の主なものについては、5 学校支援ボランティア活動として、学校ごとに記載する。

5 学校支援ボランティア活動

(1) 西枇杷島中学校での取り組み

◆読書活動推進の支援「きずな文庫」…毎週火・金(2 限時放課・昼放課)

市立図書館の蔵書 100 冊と、ボランティアによる寄贈本 181 冊の貸し出しを行う。
毎月定例会にて、当番等の確認

月	5 月	6 月	7 月	
日	⑭, 17, 21, 28, 31	4, 7, ⑩, 14, 18, 21, 25	2, 5, 9	
月	9 月	10 月	11 月	12 月
日	⑩, 13, 17, 20, 27	1, ⑧, 11, 15, 18, 29	⑤, 8, 12, 15, 19, 22, 29	3
月	1 月	2 月	各回 2～3 名で支援	
日	⑭, 21, 24, 28, 31	④, 7, 14, 18, 21, 25, 28	○印は定例会	

◆防災教育の支援

- ◎防災訓練の支援「にしび防災訓練」 1 月 7 日実施予定…炊き出し調理補助 5 名程度
- ◎各町内会防災訓練へ、中学生ボランティア参加時の見守り、町内会との調整、打ち合わせ補助。

◆家庭科の学習支援と実習引率

- ◎3 年生の家庭科の「幼児ふれあい体験学習」の支援は、今回で 6 年目となる。

事前授業支援(5/27、5/28、5/29、5/31、6/10、6/11、6/12、6/14)
…主として読み聞かせ等の指導

引率支援(6/17、6/18、6/19、6/21)…西枇杷島保育園、西枇杷島第一幼稚園へ各 2 名

- ◎調理実習補助…アレルギー生徒への別室での補助(随時)

◆行事支援

- ◎文化祭にて、きずな文庫 P O P、東海豪雨紙芝居、水防かるた展示
- ◎文化祭の、作品等見守りボランティア配置(3 名×3 回程度) 予定
- ◎吹奏楽部の楽器等の運搬

◆その他の支援

- ・制服、体操服等の調達(学校より依頼時)
- ・草木の手入れ、学校備品の修繕等
- ・N S C (にしびセーフコミュニティ) 会議への参加

(2) 西枇杷島小学校での取り組み

◆1 年生見守り支援

- ◎下校見守り…4/8～5/31

- ◎給食見守り…4/17～5/8 各日 2 名

◆児童の預かり支援…4 月 25 日(木) P T A 総会時懇談会終了まで 1 年生預かり

◆防災教育支援(東海豪雨紙芝居上演)

学校支援ボランティア指導の下、6 年生の実行委員会メンバーにより実演

9 月 5 日(木)	6 日(金)	13:35～13:50	体育館にて練習
9 月 9 日(月)		7:00～8:30	体育館にて設営、練習
		8:30～9:00	体育館にて実施

◆学習支援…(家庭科 ミシン実習)授業補助として実施予定。

◆読書活動推進の支援

- ◎図書ボランティア「Smile」への支援

- ・朝の読み聞かせ(全学年各クラスにて)…7/1～7/3 学期ごとに予定
- ・低学年図書室にて、低学年用読み聞かせ(昼放課希望者向け)…5/28、6/14、7/9 月 1 回予定

・学校図書館整備、図書修繕等…5/17、6/27、7/5 月1回程度予定

◎クロモッチーLibrary…年3回

市立図書館の蔵書100冊と、ボランティアによる寄贈本50冊の貸し出しを行う。

1学期	2学期	3学期
6月5日(水) 準備	9月18日(水) 準備	1月8日(水) 準備
6月6日(木) 10:15~10:40 1, 3, 5年貸し出し	9月19日(木) 10:15~10:40 1, 3, 5年貸し出し	1月9日(木) 10:25~10:50 1, 3, 5年貸し出し
6月13日(木) 10:25~10:50 2, 4, 6年貸し出し	9月26日(木) 10:25~10:50 2, 4, 6年貸し出し	1月16日(木) 10:25~10:50 2, 4, 6年貸し出し
6月20日(木) 返却	10月3日(木) 返却	1月23日(木) 返却

◆その他の支援

・こいのぼり、ひなまつり等飾りつけ

(3) 古城小学校での取り組み

◆生活科の学習支援

「野菜の先生」「おにまんじゅうづくり」…2年生の、生活科の学習の一環として、実施。

◆防災教育支援(東海豪雨の紙芝居)…9月13日実施予定

◆読書活動推進の支援

◎読書ボランティア「HAPPY×2(はっぴいはっぴい)」への支援

・毎週金曜日の朝の読み聞かせ

(1学期の予定…4/26、5/10、5/17、5/24、5/31、6/7、6/14、6/21、6/28)

・読み聞かせ講座…6月28日

・スペシャルおはなし会…11月22日

◎図書室整備と図書修繕

P T A活動「スマイルブッククラブ」と連携し行う予定。

◆児童の見守り支援

「下小田井地区防犯協会」を中心とした「見守り隊」による登下校時やマラソン大会の見守り

(4) 清洲中学校での取り組み

◆家庭科の学習支援と実習引率

1年生の家庭科の「幼児ふれあい体験学習」

絵本の手配や分配、読み聞かせ方に関する支援、実習当日の移動における安全面での支援などを
実地予定

◆チャリティーコンサート等楽器運搬への支援…9月14日、10月12日、3月21日

◆読書活動推進の支援「きよ丸文庫」…毎週月・木(昼放課)

市立図書館の蔵書50冊と、ボランティアによる寄贈本の貸し出しを行う。

月	5月	6月	7月	
日	9, 13, 16, 20, 27, 30	3, 6, 10, 13, 17, 20, 24	1, 4, 8	
月	9月	10月	11月	12月
日	5, 9, 12, 19	7, 17, 21, 24, 28	7, 11, 28	2, 9, 16, 19
月	1月	2月	3月	
日	9, 27	3, 6, 17, 20, 27	2, 5, 9, 12, 16	

※今年度は、図書室での貸し出しのほかに、生徒に借りてもらいやすくするため、教室近くまで、出張「きよ丸図書館」(6月より月3回程度)を開設

(5) 清洲小学校での取り組み

◆児童の預かり支援…4月25日(木) P T A総会時懇談会終了まで1年生預かり

◆学習支援

◎2年生町探検引率…5月31日

◎6年生「古い文化に触れよう(浴衣着付け指導)」

◎(家庭科 調理実習・ミシン実習)…授業補助として実施予定。

◆読書活動推進の支援

◎図書整備活動…図書修繕ボランティア 毎月第2及び第3火曜日(夏休みを除く)
7月のみ第1火曜日実施。

図書委員会での児童への図書修繕指導

◆その他の支援

- ・内科検診補助…5月10日、5月15日、5月21日
- ・耳鼻科検診補助…5月23日
- ・就学時検診補助…11月7日

(6) 清洲東小学校での取り組み

◆児童の預かり支援…4月25日(木)PTA総会時懇談会終了まで1年生預かり

◆読書活動推進の支援

◎図書整備活動…ブックランド整備

新刊フィルム掛け…8月26日、27日に予定

◆学習支援…(5,6年生家庭科)実習授業補助 6/13・14・20・21・27・28、7/4・5・11・12

(7) 新川中学校での取り組み

◆PTAあいさつ運動・オアシス運動への支援…(7:45~8:00)

月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
日	7,8	11,12	9,10	10,11	15,6	12,13	10,11	14,15	18,19

◆読書活動推進の支援… 図書ボラ(13:00~16:00)の活動して、
毎月1回図書室にて、新刊ブッカーがけや図書室のマップ作り、テーマに沿っての飾りつけ、
整備を行う。

(8) 新川小学校での取り組み

◆1年生見守り支援

◎給食見守り…4/17~4/25

◆読書活動推進の支援

◎図書修繕…毎月第2月曜日、水曜日 9:00~11:30
年2回の新刊購入の際、そのブッカー掛け

◎図書館祭りへの支援

11月の読み聞かせ期間中に全校生徒対象に図書委員と一緒にしおり作りを行う(2日間)

◎読み聞かせ活動…低学年6月・11月各6~7日間

◎今年度は、図書システム導入のため、蔵書PC入力、シール貼りを支援。7月より活動予定。

(9) 星の宮小学校での取り組み

◆読書活動推進の支援

◎図書ボランティア「星のしずく」の活動支援

- ・6月・11月・2月の各1週間、教育相談の時間帯での読み聞かせ
- ・学校図書室の修繕、整備等

◆環境整備の支援 6月・2月、主として除草作業

◆学習支援

◎(5,6生家庭科)実習授業補助

◎校外活動支援(低学年)…校区探検付き添い支援

(10) 桃栄小学校の取り組み

◆学習支援 2年生町探検引率…5月9日~11日

◆読書推進活動の支援

◎図書ボランティア…毎週火曜日(月4回)、図書修繕やブッカーがけ等

◎読み聞かせボランティア…6月24日～29日、11月25日～30日、2月17日～19日

◆学校行事の支援

◎1年生親ファミリー給食 5月29日

◎3学期お礼の会参加予定

(11) 春日中学校での取り組み

◆卒業生からの不用品の提供への支援…4月～5月、防虫剤入れ替え6月
不用品の回収及び物品の整理整頓や虫干し。

◆文化祭での受付業務と作品展示の見守りへの支援

◆環境整備の支援…分別ゴミ拾い等

(12) 春日小学校での取り組み

◆読書推進活動の支援 (図書ボランティア・読み聞かせボランティア)

◎地域の絵本サークル「ゆめつむぎ」による「読み聞かせ」…年3回程度

◎図書ボランティアによる低学年図書室整備、飾りつけ、新刊ブッカーがけ…年10回程度

◆銀杏拾いのボランティア…9月から10月の数日間

◆5年生野外学習の指導支援…スタンプ等全3回

◆学習支援

◎(5,6生家庭科)調理実習、ミシン実習授業補助…5/24・29、6/4、6/21・28 2学期以降も継続

◎ビスケットによるプログラミング学習…2学期より開催予定

6 おわりに

12年目となる本市における学校支援地域本部事業は、地域コーディネーターによるきめ細かな対応により、学校との信頼関係が構築され、学校毎に、様々な活動が展開されている。

大きな柱である「読書活動の推進の支援」については、学校の枠をこえて、地域コーディネーター同士が、連携し、情報交換し、より良い活動につなげるため、学校と学校支援ボランティアとの間をコーディネートしている。

また、「防災教育」についても、学校安全等の安全運動の総合的見地から一段と推進し、地域の安全に関する認識の向上と各種安全運動の連携強化をはかるものとし、来年度、東海豪雨より20年を向かえるのを機に、内容等の見直しを検討する。西枇杷島小学校では、昨年度より、児童が、東海豪雨紙芝居の上演に関わっており、西枇杷島中学校では、生徒達が自主的に活動するボランティア隊が、立ち上がろうとしている。夏休みの親子わくわくわプラザには、中高大学生ボランティアの受け入れ態勢もできつつある。

また、県内外からの視察の受け入れ、他地区(北名古屋市、豊山町)からの協力要請もあり、本市における学校支援地域本部を、客観的に見つめなおせる良い機会と捉えている。

学校支援地域本部から地域学校協働活動へ、1歩1歩確実に進めていきたい。

活動にあたっては、地域学校協働活動の理念の下、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えていく取り組みができるよう、各種補助制度等も適宜活用して、社会福祉課や子育て支援課、社会福祉協議会等とも連携し、より幅広い地域住民等の参画を推進し、活動の幅を広げ、多様な取り組みを実施できるような体制を整えていきたい。

最後に、地域学校協働活動は、子どもたちが地域の課題を自分のこととして捉え、その解決に向けて自ら考え行動する力の育成や、地域住民による学習成果の活用の促進による地域の教育力の充実にも資するものである。持続的な地域学校協働活動の実施は、地域課題の解決に向けた取り組みや地域活性化・地域づくりにもつながると期待されているが、目に見える成果をすぐに提供できるものではない。しかしながら、未来を担う子どもたちに、「生きる力」や「地域に対する愛情」「ボランティア精神」等の種をひたすら撒き続けることに、意義があると信じて、地域学校協働活動がそれぞれの地域に定着していくことを目標に、特色・魅力ある地域学校協働活動を展開していきたい。